

バイオマス事業に関わる方には、必携の解説書

平成25年  
4月発行

# バイオマス活用ハンドブック

—バイオマス事業化成功のために—

申込受付中

一般社団法人日本有機資源協会 編著・環境新聞社 発行

平成23年3月の東日本大震災及び原発事故以後、我が国だけでなく地球規模で再生可能エネルギーを含めたバイオマス活用の期待がますます高まり、平成24年7月に再生可能エネルギーの固定価格買取制度が施行され、平成24年9月には国によりバイオマス事業化戦略が策定されました。

このような状況のなか、バイオマス事業化に向けて各地域で取組が進められてきていますが、バイオマスは種類が多いうえ、地域によって賦存する量もまちまちで、かつその活用方法も多種多様です。

そこで本ハンドブックでは、特に事業化を行う上で入口となる地域に賦存するバイオマスについての賦存量及び利用可能量を把握するための算出方法や留意点を示すとともに、バイオマスの概論、主なバイオマス活用方法、バイオマス活用の際の相談窓口等をまとめました。

バイオマス事業に関わる方をはじめ、バイオマス事業にご関心ある方に是非ご利用いただければ幸いです。



## 内容

### 第1編 バイオマス概論

バイオマス利用推進の基本、国のバイオマス施策の展開  
バイオマス施策の新たな展開、バイオマス利用システムの基本

### 第2編 バイオマスの算出

- 第1章 バイオマス賦存量の把握
- 第2章 バイオマス利用可能量の把握
- 第3章 バイオマスの性状の把握
- 第4章 バイオマスの賦存量・利用可能量の把握における留意点
- 第5章 バイオマス別の賦存量・利用可能量の把握例

(例) 家畜排せつ物、きのご栽培残さ、食品廃棄物、廃棄紙、製紙工場廃棄物、木質廃棄物など、排水処理汚泥、農業系未利用バイオマス、農作物ほ場残さ、農作物出荷規格外品、切捨て間伐材、林地残材、その他未利用バイオマス(ヨシなど)、主な資源作物、その他の資源作物(微細藻類など)

### 第3編 バイオマスの活用

堆肥(コンポスト)化、飼料化、炭化、マテリアル製品(バイオマスプラスチック等)、木質固形燃料、木質ガス、メタンガス化、液体燃料1(バイオエタノール)、液体燃料2(バイオディーゼル燃料)

### 第4編 バイオマス活用の運用に際して

【体裁】A5判、本文288ページ

【定価】2,500円(税別・送料別)

※(一社)日本有機資源協会の会員の方は定価より1割引きとさせていただきます。

ご購入申し込み書(下記にご記入のうえ、ファックスにてご注文ください)

FAX.03-3297-5619

ご住所	(〒 - ) 都道 市区 府県 町村	JORA 会 員	会 員 ・ 非 会 員
会社名 団体名		所属・ お名前	
電話 番号		E-mail	
バイオマス活用ハンドブック 部 購入します		一 般 社 団 法 人 日 本 有 機 資 源 協 会 〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館401 (03)3297-5618	

●申込受付後、送料込みの代金をお知らせします。入金確認後、商品を発送します。●ご購入いただいた連絡先へ弊協会から各種案内をお送りする場合がございます。